

指導講話要項

昭和三十年十月二十七日(木)

学校長 寺 西 七 郎

学校経営について

- 一 法規上のろう学校
- 二 ろう学校の機構と内容
- 三 ろう教育と普通教育
- 四 本校の教育方針
- 五 本校の解決すべき問題
- 六 特殊児童への理解

小学部一年

総合学習指導案

指導者 小 島 富 夫

- 一 日時 十一月十日(木) 九・五〇——一〇・三五
- 一 単 元 なかよし 三四 ままごと
- 一 目 標

一 ままごとに出てくる自然なコトバを使うように指導す

る。

二 サヨウナラ、アリガトウ、ハナ(花) がいえるようになる。

三 チャワン、オハシ、バケツ、ママゴトを指導する。

指導観

一 児童のもっているコトバを回数多く使わせ話しぐせをつけることに努める。

二 各児童の発語上のくせに留意し個別指導に力を入れる。

三 擬音語は発音し易いから多く使う。又擬音語は分節意識を知らせるのに適当である。

四 児童の音声表現に対し正しい国語としての形式を要求することが強くなったため音声の明かるさが損われる傾向が見えるのでこの点に注意する。

指導計画

一 ままごとをする(二時間)

二 お客様ごっこをする。(一時間) ……本時

本時の目標

一 挨拶などに関するコトバを指導する。

二 サヨウナラ、アリガトウがいえるようになる

一 準備

カレンダー、ござ、ままごと道具、わなげ、さとう水

一 学習活動